



主催 敦賀舞鶴間道路整備促進期成同盟会  
 後援 国土交通省近畿地方整備局  
 開催日 令和元年8月5日(月)  
 場所 福井県小浜市(JA若狭 大ホール)  
 参加者 約350名

イベントプログラム

■開会あいさつ

松崎晃治 小浜市長  
 田中宏典 福井県議会議長

■基調講演

石田東生 筑波大学名誉教授

■情勢報告

山本周一 中日本高速道路(株)金沢支社 総務企画部長  
 宮内智昭 西日本高速道路(株)関西支社 建設事業部 建設統括課長

■パネルディスカッション

<コーディネーター>

石田東生 筑波大学名誉教授

<パネリスト>

島田悠平 (株)木田屋商店 小浜植物工場green Land 工場長  
 山岸博之 (一社)若狭湾観光連盟会長  
 宝里正利 若狭消防組合消防本部消防長  
 杉本達治 福井県知事  
 植田雅俊 国土交通省近畿地方整備局道路部長

<沿線首長からの意見>

野瀬豊 高浜町長  
 中塚寛 おおい町長  
 森下裕 若狭町長

令和元年8月6日(火) 福井新聞 25面

地域発展へ使い倒せ  
 舞若道 全線開通5周年  
 物流、観光、医療で利点  
 小浜で記念シンポ

舞鶴若狭自動車道全線開通5周年を記念した「舞鶴・若狭ハイウェイシンポジウム」が5日、小浜市のJA若狭で開かれた。講演やパネル討論で物流、観光、医療面でのメリットが紹介され、今後も「使い倒す」ことが、さらなる地域発展につながるという指摘。早期の4車線化実現を期待する声も上がった。(佐々木紀光)

舞鶴若狭自動車道は2014年7月20日、最後の未供用区間だった小浜ICと敦賀ジャンクション(JCT)間がつながり、全線が開通。基本計画決定から約26年をへて嶺南と嶺北を貫く高速道路網が実現した。パネル討論には小浜市内の企業、観光、消防関係者、杉本達治知事、国交省関係者ら6人が登壇した。レタスを生産する木田屋商店・小浜植物工場グリーンランドの島田悠平工場長は「収穫量の朝には東京のデパートに並び、と物流面の利点を強調した。若狭消防本部の宝里正利消防長は、年間2500件の救急搬送のうち120件は舞若道を利用し、「県之会長はレジャーの多様化で立病院まで70分となり、20分短縮できた」と説明。救命率向上に加えて患者の負担軽減、搬送の安全性が増したと報告した。嶺南の主要観光地の県外客入り込み数が5年間で1.3倍に増えたと報告があったが、若狭湾観光連盟の山岸博之は、若狭湾観光連盟の山岸博之は「観光地を、幾つも回れるようにネットワーク化することが大事」とした。

会場にいた市長らも意見を求められ、おおい町の中塚寛町長は「舞若道は避難路などとして、有事の際には、命の道でもある」として早期の4車線化を要望した。県と嶺南6市町、京都府、舞鶴市でつなぐ敦賀舞鶴間道路整備促進期成同盟会が開き、約350人が聴講した。



舞若道全線開通の効果を物流や観光、救急などの視点で意見交換したパネル討論=5日、小浜市のJA若狭

令和元年8月6日(火) 日刊県民福井 5面

舞若道 4車線化必要性語る  
 小浜 開通5年祝うシンポ

住民の生活基盤を上げる必要がある」と整備加速化の必要性を述べた。続いて、杉本達治知事、国土交通省近畿地方整備局の植田雅俊道路部長、若狭観光連盟の山岸博之会長ら五人がパネルディスカッションを行った。市内でレタスの生産工場を持つ木田屋商店(千葉県浦安市)の島田悠平工場長は「開通後、輸送にかかる時間が短縮され、よの鮮度が高いものを届けられるようになった」とと速達性の向上を語った。



パネルディスカッションで発言する杉本達治知事(右から2人目)

若狭消防組合消防本部の宝里正利消防長は「救急車が患者を福井市の病院などに搬送する時間が短縮。急ブレーキによる患者の身体的負担も軽減された」と話した。県と嶺南6市町でつなぐ敦賀舞鶴間道路整備促進期成同盟会が主催。住民や商工会

関係者ら三百五十人が参加した。(栗田啓石)